

# 入選

## 作文部門

小学校低学年の部

下水道ありがとう

富士市立吉原小学校 二年 谷米 美樹

家の前の川に、カモなどの鳥や魚が、たくさんいるようになりしました。カワセミというとてもきれいな鳥も、何どか見ました。

いろんな生きものがふえて、ぼくは、川を見るのが、毎日楽しみです。

お母さんに、  
「今日も、たくさんカモがいて、小魚が大きくなって、はねていたよ。ふえたね。」

と言ったら、  
「川の水が、きれいになったからかな。下水道のおかげだね。」

と言っていました。

お母さんに、

「下水道って何？」

と聞くと、

「下水道とは、よごれた水を地下水ろなどにあつめたあとに、きれいにして出すしくみだよ。」

と教えてくれました。下水道がなかったら、川や海はよごれて、魚や鳥などの生きものは生きられなくなり、きれいな水でそだった食べものを食べてしまい、びよう気になってしまうかもしれないと考えたら、とてもおそろしいなあと思いました。

下水道のおかげで、きれいな水がのめて、その水でお風呂や食事ができること、川や海がきれいだから、生きものが生きていけるということがわかりました。

ぼくは、下水道に、「ありがとう。」と言いたいと思います。毎日毎日休むことなく、よごれてながれてくる水を、ずうつときれいにしてくれる下水道。

ぼくたちが、できることはどんなことがあるか考えてみました。お母さんは、

「あぶらとかを、だいでころでながすと、きれいにするのに、たいへんだから、あぶらはリサイクル引きとりしているところにもっていくとか、だいでころから生ごみをながさないようにするかな。」

と言っていました。

せかい中の人が、一人ひとり、下水道に、「ありがとう。」と思って気をつければ、目の前の川や海、そして日本やせかい中、地きゆうぜんぶが、とてもきれいになると思います。そして、生きものもふえて、花もふえていくと思います。ぼくは、地きゆうがニコニコとよるこんでいるようすを思うと、何だかうれしくなりました。

下水道ありがとう。

ぼくたちも、水を大切にしていって、よごれた水をながさないように気をつけたいです。